



吟詠

ぎんえい

さあ！

一緒に始めましょう。

内閣総理大臣認定



公益社団法人 日本詩吟学院

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-12-12 岳風会館

電話：03-3234-4391(代) FAX：03-3234-4237

<http://www.gakufukai.or.jp>

吟詠とは…

『詩に込められた作者の喜びや哀しみ、感動した心を吟者が感じ、声に出して詩の意味を表現するものです。』

あなたも詩を読み感じた心を、あなた自身の声で表現してみたいかですか。3 か月もすれば、驚くほど、声が出るようになり、声を出す素晴らしさを実感し、詩から学ぶことの多さに喜びを覚えます。

吟詠はこんなに素晴らしい

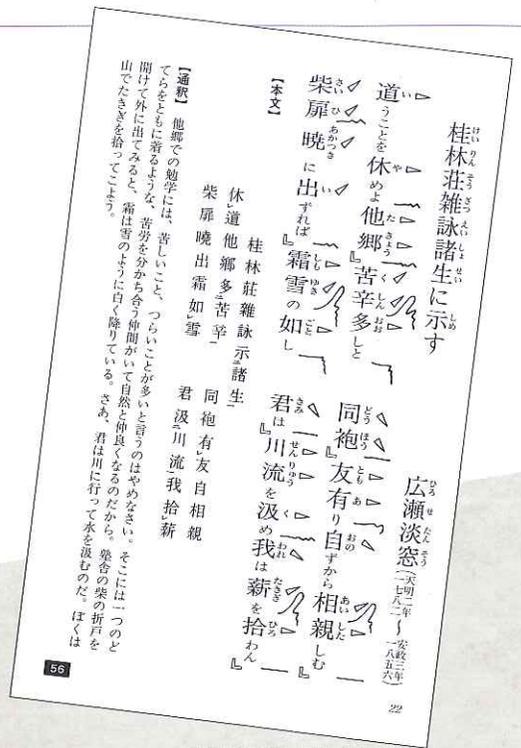
- お腹の底から声を出すことは、ストレス解消になります。
- 新鮮な空気を多く吸い込むことにより、血液中の酸素が多くなり、内臓の働きが増し体調を整えてくれます(有酸素運動効果)。
- 腹式呼吸により、腹筋を鍛え、姿勢を良くすることにより、背筋を鍛え、老化防止になります。
- 冠婚葬祭の席で披露すれば喜ばれます。
- 世代・職業を越え、様々な人と知りあえます。
- 高齢化社会の進むなか、お年寄りにも手軽に出来て、生涯学習として最適です。
- 子供の頃から吟詠に接すれば、単なる音感教育だけでなく、自然に漢字を覚え、詩に親しみ、人物とその歴史・時代を学ぶようになり、さらには多くの人々と接し、礼儀や作法・伝統・詩の心など、様々な習得ができます。

真の心の豊かさと、心の安らぎを
求める人にお勧めします。

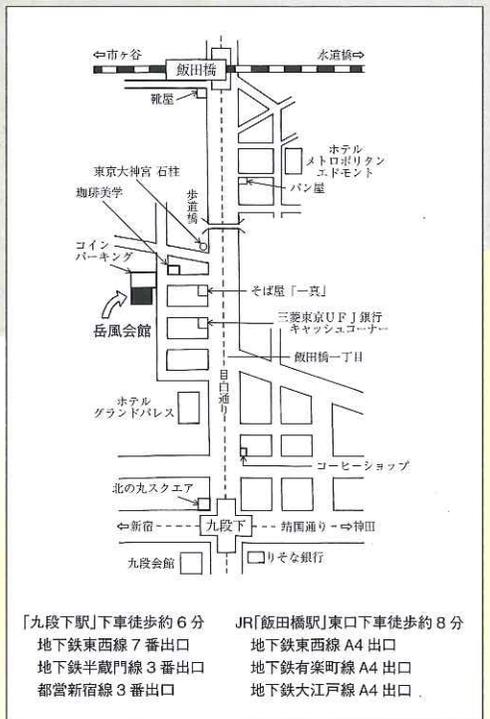


岳風会館 (吟道研修センター)

〒102-0072
東京都千代田区飯田橋 1-12-12
電話：03-3234-4391 (代)
FAX：03-3234-4237
<http://www.gakufukai.or.jp>



普及版吟詠教本漢詩篇(一) ㊤



[九段下駅]下車徒歩約 6 分
地下鉄東西線 7 番出口
地下鉄半蔵門線 3 番出口
都営新宿線 3 番出口

JR[飯田橋駅]東口下車徒歩約 8 分
地下鉄東西線 A4 出口
地下鉄有楽町線 A4 出口
地下鉄大江戸線 A4 出口

公益社団法人 日本詩吟学院とは

吟

❖ **目的** 詩歌吟詠により広く国内外に対し吟道の普及向上を図り、典雅にして崇高なる精神の育成と人格の完成を目指し、個性豊かな日本文化の創造と発展に資することを目的とする。

❖ **概要**

設立年月日	昭和11年3月15日
公益社団法人認定日	平成23年11月1日
監督官庁	内閣府
会員数	約10万人
認可団体数	全国207団体(平成23年11月現在)

❖ **行事** 全国吟道大会

全国の認可団体の代表者約2,000人が参加して、年1回開催される吟詠の祭典。平成23年には122回を迎えました。

全国優秀吟者吟道大会

全国10地区から地区吟詠大会の予選で選ばれた優秀な吟者が、一堂に会し吟詠を発表する、実力者の迫力ある大会です。

少年少女吟道大会

全国各地で、岳風会の将来を担う若い世代の、練習の成果を発表する大会です。

夏季吟道大学講座・地区吟道講座

各地の会員のレベルの向上や吟法の統一を図るため、毎年東京及び全国各地で開催しています。東京の夏季吟道大学講座には、講師として有名大学の教授などをお招きして、毎年約1,500人が参加しています。

師範審査・研修講座

指導者になるために受講する講座で、指導者としての心構えや指導方法を学ぶ講座です。

認可団体連絡会議

全国各地で、総本部と各認可団体の情報交換を行っています。

その他

認可団体では日頃の練習の成果を発表し、会員相互の親睦を図り、詩歌にゆかりの深い名所・旧跡・景勝地を訪ね、詩歌の吟情をさらに深めています。各地域自治体の文化祭などに参加し、地域の文化向上と吟道普及活動に努め、地域の人達と交流を深めています。



豊かな人生を送るために

年輪響

尚齒会神奈川吟道大会

●日時 / 平成23年2月19日(土) 9時30分開始
●会場 / 鶴見公会堂
●主催 / 尚齒会 公益社団法人日本詩吟学院監学会

高齢者の方の大会です。
初心者大歓迎!



許證発行

級・段・伝位の免状を希望者に対して審査の上、発行しています。

物品頒布

詩吟の教本やカセットテープ CD 等の教材を頒布しています。

機関誌の発行

機関誌『吟道』を毎月 1 回、岳風会会員に配付し、総本部及び各認可団体の活動状況や、優れた詩歌の紹介などを行っています。発行以来、通巻 584 号(平成 23 年 10 月)を数えます。



創始者

近代吟詠の祖 木村岳風



本名＝松木利次 明治32年9月20日～昭和27年7月1日(享年52)

- 信州諏訪湖畔、上諏訪町の松木家長男として生まれる。
- 尋常高等小学校に入り、“吃音”を矯正するため、姉から吟詠を習う。
- 本格的に吟詠を始める(大正 10 年・22 才)。
- 全国吟詠奨励行脚を行う(昭和 2 年～昭和 18 年・28 才～44 才)。
北は樺太から、南は九州・朝鮮・中国にまで、吟詠の普及活動を行うとともに、全国に残る吟詠を研究し独自の近代吟法を確立した。
- 『日本詩吟学院』を、東京九段に創設する(昭和 11 年)。

木村岳風記念館

木村岳風が生まれた家を記念館として保存し、岳風ゆかりの遺品・書画や当時交流の合った名士の遺墨なども数多く展示してあります。一年中、全国から吟友が多数参観しております。

開館時間：9 時～17 時
休 館：毎週火曜日



木村岳風生家



JR 中央本線 上諏訪駅下車
車：約 5 分 徒歩：約 20 分



木村岳風記念館・研修センター



記念館 〒392-0005 長野県諏訪市岡村 1-12-6
TEL: 0266-52-7851(代) FAX: 0266-58-5254

あなたのお近くの教場は

公益社団法人 日本詩吟学院

はまゆう吟詠会



通常練習状況



合同練習状況

